





子宮がん検診 受付中!

平成22年度対象でまだ受診されていない方、または子宮頸がん検診無料クーポン券をお持ちの方は、使用期限が平成23年3月31日までとなっていますので、お早めに申し込みください。

子宮がん検診は、個人検診として『名寄市立総合病院』もしくは『旭川がん検診センター』で受診することができます。受診される場合は、次の手続きとなります。

【申し込みから受診までの流れ】

<p>①保健センターへ電話で申し込む。クーポン券利用の場合は申し出る。</p> 	<p>②保健センターから必要書類（受診票）が届く。</p> 	<p>③受診する検診機関に予約の電話をする。名寄市立総合病院、もしくは旭川がん検診センター</p> 	<p>④必要書類、クーポン券（お持ちの方のみ）、保険証を持参し、直接検診機関に行って受診する。</p> 
---	---	---	--

※個人検診は旭川がん検診センターまでの送迎バスはありませんのでご注意ください。

～子宮頸がん検診 無料クーポン券をお持ちの方へ～
 受診日(予約日)が有効期限の平成23年3月31日を過ぎると、クーポン券が無効となりますのでご注意ください。詳しくは保健センターまでお問い合わせください。

平成23年度 各種検診の詳細は、4月号広報の折り込みチラシをご覧ください。

平成22年度分 インフルエンザワクチン接種料金の助成終了について

平成22年10月から実施している下記の対象の方の接種料金助成については、平成23年3月末日で終了します。
 助成を利用したの接種および償還払いの手続き（接種費用の後日返還）は、3月末日までをお願いします。

全額助成

市民税非課税世帯の方、生活保護世帯の方

一部助成（1人1回1,000円を助成）


上記対象者以外の概ね65歳以上の方

①65歳以上の接種希望者（接種当日）

②60歳以上65歳未満で、心臓、腎臓または呼吸器の機能に自己の身の日常生活が極度に制限される程度の障がいや有する方、およびヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障がいや有し、接種を希望する方（接種当日）

名寄市地域子育て支援センター「さくらんぼ」
3月の催し(☎01654②5683)

- 親子遊びの広場「身体測定 3回目」
 - ・とき 3月8日(火)10:00～11:30
 - ・ところ ほっと21
 - ・内容 身長・体重を測って手形を取って、カードを持ち帰ります。今年度最後の体側です。皆さんで参加してください。
 ※「びよびよ」の方は9日(水)に行います。
- 3月29日(火)～4月14日(木)は新年度準備のため、お休み



健康ガイド

HEALTHY GUIDE

申し込み・問い合わせ
 保健センター

名寄市西2北5丁目
 ☎01654②1486

休日当番医 急患に限ります

3月 6日	市立総合病院	☎01654③3101
13日	名寄東病院	☎01654③2188
20日	名寄中央整形外科	☎01654③2006
21日	片平外科・脳神経外科	☎01654③3375
27日	名寄三愛病院	☎01654③3911
4月 3日	市立総合病院	☎01654③3101

 救急医療情報案内
 フリーダイヤル
 ☎0120-20-8699

3月 子育て保健 ミニカレンダー

1日(火)	ちびっこひろば③
3日(木)	3～4カ月児健診 BCG
4日(金)	のびのび親子教室
8日(火)	お母さん教室③
10日(木)	ポリオ
11日(金)	親子ふれあいひろば
16日(水)	ポリオ
22日(火)	もぐもぐ離乳食教室
23日(水)	赤ちゃん計測日 ポリオ
24日(木)	3歳児健診
25日(金)	親子ふれあいひろば
28日(月)	股関節脱臼検診
29日(火)	7カ月児健診

※風連会場は風連地区の方のみを対象として実施しています。
 ※詳しくは母子保健カレンダーをご覧ください。

風連診療所の健康だより

風連国民健康保険診療所 ☎016555③2545

「安い」お話

まだまだ寒い日が続きます。インフルエンザも流行っていますので、体調管理には十分にご注意ください。

さて何が「安い」のか…というと、お薬のお話です。先日、名寄市国民健康保険に加入の方に、「ジェネリック医薬品に切り替えた場合の薬代の自己負担軽減に関するお知らせ」なるものが送られたようです。その質問があったので、この場を借りて話します。

「ジェネリック医薬品」って何かというと、簡単に言うと、だれかが作った薬のコピー商品です。

新しい薬ができて、10年経って特許が切れたら、有効成分を同じにしたお薬です。だから、開発費や、テストにお金がかからないので、かなり安くなります。なんだ、「同じで安いならいいじゃないか！」と言われればその通りです。世の中みんなこの「ジェネリック医薬品」に変わったかという、実は全体のまだ1〜2割程度しか使われていません。

理由は、1つはまだ特許の切れていない薬がいっぱいあることです。これは当たり前ですね。

他の理由は、患者さん自身が、

薬を変更することを嫌がることもあります。「安ければいいじゃないか。国の社会保障費も安くなるし！」と考えるのは、他の人がそうしてくれる場合には、そうかも知れませんが、やっと自分に合っている薬に出会ったような場合には、「主成分が同じだからいいじゃないか！」と言われても嫌だと思ふ気持ちもよくわかります。血圧の薬や、心臓のお薬、生死に直結するようなお薬は、飲み慣れたお薬がいいと思う方が実際に、たくさんいらっしゃいます。

もう一つの大きな理由は、医者側にあります。「ジェネリック医薬品」が実はすべての薬が、オリジナルのものとお薬と同等ではないことがあるからです。有効成分が同量入っている、溶出試験（ちゃんと溶け出すのか調べる試験です）をすると、ちゃんと溶け出なかったりするものや、その試験そのものがほんの少ししかさ

れていないものもあります。また、これは大きな問題になったのですが、有効成分が規定より少なくなってしまう薬もありました。この問題を起こしたのがジェネリック医薬品の大手の会社

だったために、医者の中でも不信感が広がりました。さらに、かなり怪しい？会社も交じっていて、すぐに製造中止になったり、副作用が起きて、問い合わせしても「オリジナルの薬を作った会社についてください」などの対応があり、今一つ、信用できないと感じている医者がたくさんいるのだと思います。

こんな様子というと、「ジェネリック医薬品」は危ない薬のように聞こえますが、実際は、大多数のものはオリジナルのお薬と同等だと思えます。薬局の先生や、医者が、大丈夫そうなものを選んで採用していますし、オリジナルのお薬を作っていて、ちゃんと対応できる会社も「ジェネリック医薬品」を作っているの、そのような会社のものを選んで使っています。

話を少し戻しますが名寄市国民健康保険が送った「ジェネリック医薬品に切り替えた場合の薬代の自己負担軽減に関するお知らせ」に「ジェネリック医薬品に切り替えることのできるお薬」という欄があって、そこにお薬の名前が書いてあるのですが、そこが間違っ

ていて、ジェネリック医薬品のま

だないお薬や、すでにジェネリック医薬品に切り替わっているお薬も書いてあります。その欄は参考になりません。さらに、この頃は、二つの薬を1錠にまとめた薬があって、その薬は「ジェネリック医薬品」よりも安くなったります。この辺になつてくると、複雑になるので、なかなか難しいです。診療所の患者さんは、私から「ジェネリック医薬品」にするか聞かれたり、目の前で電卓持ち出して計算して「〇〇円安くなるけどどうしますか？」とか、「薬の数を減らせるけどどうする？」なんて聞かれた人が多いと思います。

「ジェネリック医薬品」について聞きたいことがあったら、今お薬をくれているお医者さんと相談してください。安いほうがいい人は「できるだけ安いほうがいいけど、先生が安全と思うものだけにしてください」といえば、いろいろと考えてくれるでしょう。

決して「ジェネリック医薬品」すべてが悪いわけではありませ

いうのでしようか？じゃあ、少なくとも、厚生労働省の職員は全員、ジェネリック医薬品を最大限使っているのでしょうか？と言いたくなります。安全で、効果の変わりのない範囲で、できるだけ「ジェネリック医薬品」を使ってゆくのは必要なことだと思えます。でも、自分の命を預けるかもしれない「お薬」は、診断し、それが最善と思う薬を出す医者の責任と、それを口にする、患者さんの意志が尊重されるべきものだと思います。

【名寄市風連 国民健康保険診療所 所長 松田 好人】

健康づくり体操教室のお知らせ

- ・とき 3月10日(木)・17日(木)・24日(木)・30日(水)
9:30~11:15
- ・ところ 総合福祉センター
- ・内容 フォークダンス・民謡踊り・自きょう術
- ・持ち物 上靴
- ・申し込み 当日会場で受け付けます。
- ・問い合わせ 名寄庁舎2階 高齢介護課高齢福祉係
☎01654③2111 内線3231